



## 活動報告

### ●西日本経済協議会 要望活動

【日時】11月28日(木)

【場所】東京都内



中部、関西、四国、九州、中国、北陸の6経済連合会で構成する西日本経済協議会は、「イノベーション促進による成長産業の創出」「GXの実現に向けた取り組みの推進」「地方創生の強力な推進と未来社会の創造」「広域連携と国土強靱化に向けた社会基盤整備」を柱に、林 内閣官房長官(写真)、加藤財務大臣、中野国土交通大臣、武藤経済産業大臣、森山自由民主党幹事長等に対して、要望活動を実施した。

金井会長は、中野国土交通大臣、森山自民党幹事長に対して、能登地震・豪雨からの復興については幹線道路の本格復旧の加速を、北陸新幹線敦賀・新大阪間については今年中の詳細ルート・駅位置決定と来年度の正式工事予算の計上を要望した。(担当：高島)

### ●人財活躍推進委員会

【日時】12月2日(月) 12:20-14:00

【場所】金沢ニューグランドホテル

【参加】11名(会場6名、オンライン5名)

林委員長は冒頭挨拶で、10月に視察したフィンランドの先進的な取り組みについて紹介した。

また、女性の正規雇用が非正規雇用を上回ったという報道に触れ、労働力不足を背景に、首都圏の企業を中心に女性を正規雇用する動きが加速してきたと指摘。北陸企業もスピーディーに取り組まなければ、後手に回ると危機感を表した。

事務局からは、今年度取りまとめ予定の「北陸企業のダイバーシティ&インクルージョン(D&I)推進の取り組み状況」や、外国人留学生の北陸企業への就職促進の取り組みについて報告した。

委員からは、近年注目される「公平性」(Equity エクイティ)の捉え方、公平性を実現するための働き方改革、D&I推進に向けた社会的要請が高まる中での女性管理職の積極的登用等、自社の取り組みを交えながら活発に意見が述べられた。(担当：日野)

### ●新たな価値創出委員会

【日時】12月3日(火) 12:20-13:45

【場所】ANA クランプラザホテル金沢

【参加】19名(会場12名、オンライン7名)

北村委員長は冒頭挨拶で、海外に比べ国内の自動化設備投資は遅れているが、北陸に多い世界でも有数の機械設備メーカーを活用するなどDXによる自動化を進め、生産性向上に繋げることが北陸経済にとって重要だと述べた。

事務局からは、デジタル人材育成講座、スタートアップとのオープンイノベーション、「北陸のシェアトップ150」改訂など今年度の取り組みについて報告した。

委員からは、各団体のDX推進支援の取り組み、北陸地域全体のデジタル化の底上げ、サーキュラーエコノミー等カーボンニュートラルの取り組み、人手不足に対する委員会間の連携等について発言があり、今後の事業活動に鋭意反映させていくこととした。

(担当：坂井、松木)

## ●新たな価値創出オンライン講演会

【日時】12月3日(火) 14:00-15:00

【参加】80名(会場20名、オンライン60名)

(株)スギノマシン執行役員 R I 事業部長 大西武夫氏が「スギノマシン流のDX取組による競争力強化」と題して講演した。

組織を横断したDX推進方法や、工場の稼働状況・生産実績を一元管理できるシステムの自社開発・導入により生産性向上を果たした事例を紹介した。

また、今後は生成AI技術を効果的に導入し、DXとCX(顧客体験価値)の両輪を回し、更なる競争力強化を図りたいと述べた。

参加者からは、DX人材の育成、顧客ニーズを捉えた製品展開に関する質問があり、同席した(株)スギノマシンの杉野社長は、従来のものづくり手法では差別化が難しくなったことを受け、DXに取り組みはじめ、製造、営業、サービスが組織として一気通貫となるソリューションビジネスに繋がったと回答した。



(担当：松木、坂井)

## ●観光委員会

【日時】12月5日(木) 12:20-13:30

【場所】金沢ニューグランドホテル

【参加】16名(会場14名、オンライン2名)

米沢委員長は冒頭挨拶で、米国の有力雑誌が旅行先として金沢を推奨していること、その背景に京都の混雑回避があることに触れ、金沢でのオーバーツーリズムを防ぐためにも、訪れる観光客を北陸の隅々まで分散させることの重要性を強調した。

事務局からは、能登の観光復興に向けた政府要望や情報発信、インバウンドの誘客促進、デスティネーションキャンペーン等の取組みについて報告した。

委員からは、今後もインバウンドの増加が予想される中で、県や市町の単位ではなく「北陸」としての知名度向上、京都の良い点やオーバーツーリズムで苦労している点を学ぶ必要性、北陸周遊を促す二次交通やコンテンツ整備、能登復興の重要性等、様々な意見が交わされた。(担当：日野)

## ●社会基盤委員会

【日時】12月9日(月) 12:20-13:00

【場所】ホテル金沢

【参加】16名(会場15名、オンライン1名)

光野委員長は冒頭挨拶で、北陸新幹線敦賀開業の経済効果や、東海道新幹線の代替路線としての重要性を実感・再認識しており、早期全線開業に向けて2025年度中の正式着工を目指して取り組むとした。また、中部縦貫自動車道についても、物流効率化や防災の観点から早期開通が重要だと述べた。

事務局からは、北陸新幹線の早期全線開業、能登の社会インフラの全面復旧・強靱化等の要望活動、北陸圏広域地方計画について報告した。

委員からは、能登の復興に関して、社会基盤の観点からは能登への円滑な送客に資する交通インフラの重要性が指摘された。(担当：落合、浅井、澤田)

## ●物流 2024 年問題

### 持続可能な物流の実現に向けた講演会

【日時】12月9日(月) 13:10-14:15

【参加】45名(会場15名、オンライン30名)

フクビ化学工業(株)執行役員の大谷幸宏氏は、パレット(荷役台)の共通化、受注出荷体制の見直し、物流拠点の再編など、持続可能な物流を目指した荷主企業としての複合的な取組みについて説明した。



続いて、日本通運(株)のネットワーク商品企画部専任部長の宮田光揮氏は、同社の船舶と鉄道を組み合わせた輸送サービス「Sea & Rail 日本海ルート」が、CO<sub>2</sub>排出量削減やトラック運転手不足対策、災害時の代替輸送手段確保に役立つとして、活用事例等を紹介した。

(担当：落合、浅井、澤田)



(担当：成瀬)

## ●中部・近畿経済産業局との懇談会

【日時】12月10日(月) 13:30-15:45

【場所】ANA クラウンプラザホテル金沢

【参加】70名(会場43名、オンライン27名)

金井会長は冒頭挨拶で、能登復興に関して、建物の解体・撤去の人手不足などの課題が残っていることに触れるとともに、これからは地域経済を支える製造業や伝統産業、観光業の再建を進める必要があるとして、両経済産業局に更なる支援を求めた。

中部経済産業局の寺村局長、近畿経済産業局の林総務課長企画部長からの挨拶後、北経連の林副会長が「第五次中期アクションプランの取組状況」について、近畿経済産業局の林総務企画部長が「大阪・関西万博」について、直近の活動を報告した。

その後、以下の4つのテーマで意見交換し、相互の協力・連携の方向性を確認した。

- ①能登半島地震・豪雨災害からの復興
- ②人口減少下における生産性向上・成長力強化に向けた支援
- ③オープンイノベーションの推進・新事業創出に向けた環境整備
- ④GX実現を目指したエネルギー・環境対策

## 今後の行事予定

### ◆【参加募集】北陸産学技術交流会(見学会) NITEが取り組むイノベーション支援等の紹介と施設見学

(独)製品評価技術基盤機構(NITE)の取組み\*を紹介し、製品の事故調査設備等の施設を見学します。

\*技術・サービスが社会や市場で適切に評価される仕組み(評価制度)の構築や運営を担う人材育成、保有するデータ、試験設備を用いた製品開発の課題解決や社会実装

【日時】2025年1月20日(月) 14:00-16:15

【場所】NITE 北陸支所(金沢駅西合同庁舎7階)

【対象】製造業に限らず、製品の安全性、品質、標準化(製品価値を評価するものさし)に関心のある方(どなたでも参加可)

関係部署の実務者の方へご案内ください。

(1団体から複数名の参加も可能です。)

【定員】20名 [先着順]

【主催】NITE 北陸支所・北経連

【申込】1月8日(水)まで下記 URL

または右の QR コードにて申込



【詳細】<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/cf5d60fbdcc9895b77f0fe109e987ec0.pdf>

(担当：松木、坂井)



## ◆【参加者募集】

### 北陸×新潟 地域連携スタートアップピッチ

新潟県、エスイノベーション(株)と連携して、北陸および新潟の大学発スタートアップ・若手起業家の斬新な事業を紹介するイベントを開催します。

【日時】2025年1月22日(水) 13:30-16:30

【場所】金沢商工会議所 1F ホール(オンライン併催)

【登壇企業】

- ・(株)Dioptra 土木業界のDX推進
- ・(株)NK SkyTech solution ドローン飛行日誌作成
- ・(株)Riparia 企業プロモーション支援(SNS運用等)
- ・(株)N.nor (エヌノア)

アートを用いた企業ブランディング、デザイン他、学生起業家等が6名程度登壇予定

【主催】北経連、新潟県、エスイノベーション(株)

【詳細・申込】<https://peatix.com/event/4212350>

※Peatixへ要登録。登録後「チケットを申し込む」より申込み。参加無料。(担当：成瀬、松木)

## ◆ 新春経済懇談会

【日時】2025年1月27日(月) 15:00-17:20

【場所】ANA クラウンプラザホテル金沢

【内容】日本銀行 大川金沢支店長による講演等

【対象】全会員 オンライン併催 (担当：鳥山)

## ◆【参加募集】北陸産学技術交流会(情報交換) 福井工業大学「生成AIで拓く北陸の未来 ～観光・ビジネスと安心安全～」

観光、ビジネス、医療、偽情報対策の課題解決に向け、福井工業大学の生成AIを活用した取組みを紹介。各分野での生成AIの役割と新たな価値創出の可能性について、情報交換します。

【日時】2025年1月29日(水) 12:00-14:15

(昼食付)

【場所】福井工業大学 福井キャンパス 6号館 1階

【対象】企業のシステム担当者や経営者等

どなたでもご参加いただけます。

関係部署の実務者の方へご案内ください。

(1団体から複数名の参加も可能です。)

【定員】20名 [先着順]

【主催】福井工業大学・北経連

【申込】1月15日(水)まで下記URL

または右記QRコードにて申込



【詳細】<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/107794db77eae2eff8a485c482a4049.pdf>

(担当：松木、坂井)

## ◆ 会員懇談会 (福井)

【日時】2025年2月4日(火) 14:30-18:00

【場所】ホテルフジタ福井(ザ・グランユアーズフクイ)

【テーマ】ダイバーシティ&インクルージョン

【対象】全会員 オンライン併催 (担当：浅井)

## お知らせ

### ■カーボンニュートラルBASE北陸 CNコンテンツ掲載WEBサイト開設

北陸の企業・団体のカーボンニュートラル(CN)のシーズを掲載するウェブサイトを開設しました。是非、ご活用ください。掲載も引き続き募集中。

URL：<https://www.hokkeiren.gr.jp/kankyo/cn/#cn>

掲載申込：<https://forms.office.com/r/PVhsNgzp24?origin=lprLink>

### ●マッチングイベント参加者募集中

【日時】2025年1月23日(木) 13:30-16:00

【場所】富山県民会館(オンライン併催)

【内容】CNに関する商品・サービスを有する企業のプレゼン、先進企業による事例紹介

<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/2033.html>

【申込】1月17日(金)までに下記URLから申込

<https://forms.office.com/r/Rusbax0sP3?origin=lprLink>



【問合せ】カーボンニュートラル BASE 北陸事務局

Mail : [miyashita@hokkeiren.gr.jp](mailto:miyashita@hokkeiren.gr.jp)

TEL : 076-282-9530 (担当 : 宮下)

## ■厚生労働省からのお知らせ

### 12月は「職場のハラスメント撲滅月間」

ポータルサイト「あかるい職場応援団」では、ハラスメント防止対策の参考となるパンフレットや研修動画を提供しています。カスタマーハラスメント対策事例も掲載されています。

各県労働局では、職場におけるハラスメントの相談を行っています。事業主の方も、労働者の方もお気軽にご相談ください。

ポータルサイト <https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/>

(担当 : 日野)

## ■金沢工業大学からのお知らせ

### KITリカレント教育「情報技術教育プログラム」春期集中講義(2月~3月)受講者募集

企業に勤務する社会人の方が、学生や教員と共に学び合いながら、AIやIoTといった先進情報技術を身に付けることができる教育プログラムです。

貴社の教育担当へもご案内をお願い致します。

#### 【教育プログラム】

- ・情報技術教育(13科目)
- ・期間:2025年2月19日(水)~3月13日(木)
- ・詳細:<https://www.kanazawa-it.ac.jp/kit-ite/>

【受講料】1科目あたり24,000円

※別途検定料必要

【申込】1月14日(火)までに詳細URLから申込

【問合せ】金沢工業大学大学事務局共創教育推進室

Mail : [kit-ite@mlist.kanazawa-it.ac.jp](mailto:kit-ite@mlist.kanazawa-it.ac.jp)

TEL : 076-294-6743 (直通)

(担当 : 坂井、松木)

以上